



皆様、早いものでガバナー就任から5ヶ月が経過いたしました。月日の経つのがこんなにも早いものかと思えます。

去る11月11日(金)シェラトン都ホテル大阪、12日(土)NHKホールにおいて開催されました地区大会には中村RI会長代理をはじめ多数のPastor・ガバナー、ガバナー・エレクト、ガバナー・ノミネー、ガバナー補佐、ガバナー補佐エレクト、および各地区委員会委員、会員の皆様方に御出席を賜りまして誠に有り難うございました。

私の年度の主要行事でありますPETS・地区協議会に引き続き地区大会を無事終えることが出来ましたことに対しましてご協力、準備に携わっていただきました皆様様に厚くお礼申し上げます。まだ公式訪問も残っておりますので気は抜けませんが、ホッとしたひとときの休息を頂戴いたしました。まだまだ後半の行事も控えておりますので、皆様のご協力の程お願い申し上げます。

さて、12月は「家族月間」です。1995年11月のRI理事会において2月の第2週を「家族週間」としましたので古い会員の方にはなつかしく思い出されることと思います。

しかるに、2003年7月のRI理事会において、家族の重要性を主眼にしたことを称え、12月を「家族月間」と指定しまして今日に至っています。従って、「家族週間」は廃止されました。

ところで、本年度RI会長カリヤン・バネジーさんは三つの強調事項の第一に強い家族を築くこと。「万事は家族から始まります。私達が行う奉仕すべて、また世界で成し遂げたいと望むことすべての出発点は家族にあります。そして、あらゆる家族の中心を成しているのが母と

子であり、ここから始めてこそ人々の生活や地域社会全体を通じて、世界をより良くしていくことが出来る」と唱えています。私も同感であり、PETS、地区協議会においても強調させていただきました。

12月は、クリスマス・家族会など会員家族を対象としたクリスマス・年末家族会等の名称で家族の大切さを再認識する月間として定着してきました。

以前は、街中には景気の良さを反映して深夜まで酔客で溢れかえり、タクシーを確保するのが大変な時もありました。

しかし、今は世界景気の冷え込みにより以前の活況は見られる影もありません。

3月11日の大震災、また9月の近畿地方を襲った台風12号の被害を見るにつけ、家族の絆の大切さを痛感したと数多くの方がテレビのインタビューに答えています。世の中の荒波に立ち向かう勇気を与えてくれるのは家族に他なりません。

今年一年の各ご家庭を振り返り、本当に私達の置かれている立場を理解し、そして何よりも私達の活動を支えてくれる「家族の温もり」に感謝をして新しい年を迎えようではありませんか。私自身も5ヶ月の総括をして、家族に対して感謝の気持ちを表したいと思います。

よいお年をお迎え下さい!!

合掌